

各社の安全対策への取り組み

1 A社・・・ドライブレコーダー(以下「ドラレコ」という)の装備

- ・昨年 4 月から導入した。単に映像が取れるだけの低価格のドラレコ(SD カード式)。
- ・経費を抑えるため、取り付けは SV や店長が実施。
- ・ドラレコを導入した数と事故件数の減少に相関関係が見られる(事故は 3~4 割減少)。
- ・必ず店長が画像を確認し、その結果を日報で報告。費用対効果大。
- ・中国製の安物は約 1 割が正常に作動しない。

2 B社・・・ドラレコの装備

- ・7 年前からドラレコを導入し始めた。
- ・導入 1 年目は一時停止違反などがあり、なかなか成果が出なかった。
- ・動画をまとめて SV に見せた。導入 3 年目で事故が 3~4 割減少した。
- ・一昨年からは FC 店舗にもドラレコを装着させている。
- ・四輪車は、前面とドライバーの目線を記録している。
事故を起こしたドライバーは目線が前方を向いていない。脇見、スマホ等に目線。
- ・違反したドライバーには特殊なドラレコ(急発進、急停止等記録機能をもつ)を 1 年間装着し、SV に監視させている。

3 C社

- ・ドラレコは四輪車のみ装備。
- ・検定に合格した者だけを採用している。
- ・毎月 1 回検証セミナーを実施しており、これにドラレコを使用している。
- ・事故・違反統計を取っており、同一違反及び事故が多いドライバーは契約解除。
- ・無事故無違反運動の経歴証明につき、違反無申告者には強い措置をとっている。

4 D社・・・実技講習と座学講習

- ・実技講習・・・46 回/年
- ・座学講習・・・約 200 回/年
座学では KYT を実施している(二輪、四輪、昼夜間)。一度に最大 20 人。

5 E社

- ・ドラレコの装備による効果は大・・・事故分析時冷静に判断できる。
- ・点数制度を導入しており、一定の点数になると強い指導をしている。

6 F社

- ・安全運転管理講習を受講している。
- ・アルコールチェッカーの導入準備を行っている。
- ・75 歳以上の高齢ドライバーには認知症チェックを実施している。
- ・全指連さんにブラッシュアップを依頼している。

7 G社

- ・ドラレコは装備していないので今後検討する。
- ・デリバリースタッフの指導が不足している(専門のスタッフがいない)。
- ・新人研修時の教育もやや効果があがっていない。
- ・関東地区は近郊を回って座学講習(店舗ごとに約2時間)を実施している。
関西・北海道地区についてはリモートを活用して座学講習を行っているが、あまり効果があがっていない。
- ・実技については後方を走行して指導を実施している。

8 H社(Eメールによる回答)

- ・安全運転適性テストの実施。
- ・初期教育マニュアルの制定・活用。
- ・安全運転動画の活用。
- ・安全運転宣言の実施。
- ・無事故記録日数の掲示。
- ・業務開始時は顎紐の装着状況と免許証を確認。
- ・バイクの点検と点検表への記入。
- ・社内掲示板等で情報共有。
- ・ドラレコの活用(四輪車)。

9 NEC ネクサソリューションズ(株)さん

現在、SDカード不要の自動的に常時通信できる二輪車用ドラレコを関係業者と調整し、準備中である。

以上